

国立大学法人山口大学吉田地区廃棄物集積場使用申し合わせ

1. 吉田地区廃棄物集積場（以下「集積場」という。）の管理・運営のため、以下の事項を定めるものとする。
2. 集積場に保管する危険物の指定数量は、表 1 に示す物とする。

表 1 山口大学吉田地区廃棄物集積場の指定数量

類 別	品名及び性質	指定数量
第 4 類	第 1 石油類 非水溶性液体	800L
	水溶性液体	800L
	アルコール類	400L
	第 2 石油類 非水溶性液体	100L
	水溶性液体	100L
	第 3 石油類	100L
	第 4 石油類	300L
	動植物油類	100L

3. 集積場の管理・運営に関する主任者として保安監督者を置く。保安監督者は、危険物の取扱における保安の監督・指導および集積場の実態を把握する。保安監督者は指定数量の数値に変更が会った場合にはその都度速やかに関連学部等に連絡する。
4. 保安監督者は、吉田地区学内の危険物取扱の有資格者が排水処理分野長から任命される。
平成 28 年度保安監督者は排水処理施設長 藤原 勇 とする。
5. 集積場を使用する者は、保安監督者に申し出た後、学部等名、責任者名、連絡先、危険物の種類および数量を連絡し、保管場所の指定を受ける。集積場の鍵は排水処理施設、理学部事務室、農学部事務室の 3 カ所に保管する。
6. 危険物は、保管に適切な容器に学部等名、危険物の種類および数量を明記し、指定された場所に保管する。
7. 2 種類以上の品名が混入している危険物は指定数量が少量の品名を記入する。
8. 危険物の集積場への搬入の際には、保安監督者に届け出、搬入者は集積場の鍵を所属事務室に取りに行く。搬入後、搬入者は日時、学部名、危険物の種類および数量及び搬入者を搬入簿（様式 1）に記録する。搬入簿（様式 1）は集積場に置く。
9. 危険物の取扱は、危険物取扱の有資格者または、危険物取扱者の立ち会いのもとで行う。
10. 危険物取扱の有資格者及び危険物取扱者を年度最初に保安監督者に届けておく。
11. 集積場内および周辺での火気の使用はしない。
12. 集積場内には指定されたもの以外は貯蔵しない。
13. 異常を発見したときには、直ちに保安監督者まで連絡する。
14. その他：わからないことは保安監督者に相談する。
15. 危険物は、排水処理施設規則等に決められていることを遵守して取扱う。

平成 28 年 4 月 1 日

排水処理分野長
排水処理等安全管理委員会委員
排水処理等安全管理委員会委員
排水処理等安全管理委員会委員
排水処理施設長

石黒 勝也
塩田 正俊（教育学部委員）
祐村恵彦（理学部委員）
荒木英樹（農学部委員）
藤原 勇